

会議録

会議の名称	第4回 西東京市都市計画マスタープラン中間見直し策定委員会
開催日時	平成25年7月3日（水曜日）午後2時30分から4時30分まで
開催場所	保谷庁舎4階第3会議室
出席者	委員：根上委員長、讃岐副委員長、市賀委員、糟谷委員、紺野委員、田中委員、中村委員、丸木委員、村田委員、出席者合計9名 事務局：松本都市計画課長、山田まちづくり総合調整特命主幹、加藤主査、乙幡主事、並木主事 傍聴者：パンフィックコンサルタンツ(株)松本技術課長、小松
議題	議題(1)前年度（全体構想）の振り返り 議題(2)地域別課題について 議題(3)「地域別説明パネル展」の開催について 議題(4)今後のスケジュールについて
会議資料の名称	資料(1)これまでの検討経緯と本年度の位置づけ 資料(1) 関連資料) 資料(2-1)地区別課題の抽出と今後の方針 資料(2-2)地域別課題案 資料(3-1)地域別説明パネル展開催案内 資料(3-2)展示パネル 資料(3-3)アンケート調査票 資料(4)全体スケジュール
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>1. 開会挨拶</p> <p><u>議題(1)前年度（全体構想）の振り返り</u> 事務局： 資料1の説明 特に質問なし</p> <p><u>議題(2)地域別課題について</u> 事務局： 資料2-1、2-2の説明 (ひばりヶ丘駅を中心としたゾーンについて)</p> <p>委員：</p>	

資料2-2の1ページの図で、鉄道をはさむように茶色の破線が描かれているが、踏切についてはどのように考えているのか。

鉄道の立体化や地下化などを想定しているのか。

事務局：この茶色の破線の部分は、線路自体も含めており、最終的には鉄道の立体化を目指していきたいと考えている。

また、南北方向の西3・4・20号の茶色の破線についても、鉄道の立体化と併せて考えていくことになる。

委員：

鉄道の立体化については、具体的な話はあるのか。

事務局：

具体的な話はない。

東京都の踏切対策基本方針で鉄道立体化の検討対象区間に位置づけられているので、周辺市町と連携して要請していきたい。都市計画マスタープランに位置づけることにより推進につなげたい。

委員長：

最終の計画も提示された資料と同様に、左に図、右に表というようなスタイルになるのかと思う。

ただ、例えば、1ページの右の表のまちづくりの方針の土地利用の「駅周辺や商店街における商業機能の集積」は、方針とするとわかりづらいと思うし、商業集積の問題というよりもアクセスの問題だと思われるので、アクセスの改善などの表現のほうがよいと思う。

また、「URひばりが丘団地における複合利用」も具体的に何をイメージしているのかわからないなど、わかりづらい箇所がある。

(市中央ゾーン)

委員：

資料2-2の2ページの図で、旧東大農場の中を東西に通る道路が赤色で記載されているが、整備することが決まっているのか。

事務局：

既に事業中であり、東京都が用地買収を進めている。

委員：

西3・4・9号の谷戸新道から東側の部分については、昨年度、事業説明会を行い、2年後の事業着手を目途に進めていて、昨年度から測量に入っている。

このように、計画路線の中で、事業着手されることが明確に決まっているところと、いつ着手されるか決まっていないところとの区分けが必要ではないか。

委員：

時間軸は書けないか。

事務局：

この図面は凡例がなくわかりづらい。これから実施する市民説明のパネル展では、事業中のもの、計画だけが立てられていて事業の見込みがまだないものとの色分けは凡例を入れてわかるようにしたい。

委員：

具体的なことがわかっているものについては、「何年後に着手」などと書けないか。

事務局：

都市計画マスタープランは、まちづくりの今後の方針を定めるものであり、将来像を定めるものなので、少なくとも事業を行っているかそうでないかは明記するが、事業の段階まで表記するのは難しい。

なるべくわかりやすく表記はしたい。

委員長：

今回は中間見直しということで10年後を想定して策定するわけだが、どのように書き込むかは工夫してもらいたい。

委員：

今回、戦略テーマの1つに「多様な安全・安心が確保されたまち」があり、その展開ポイントとして「まちづくりと一体となった治水対策」が挙げられている。

最近石神井川の整備に伴い、河川の氾濫は少なくなってきているが、今年6月に集中豪雨があった際、2ページの図の泉小学校が含まれる「屋敷林や寺社林などのみどりの保全」とされている緑色の破線のエリアで道路の浸水があり、車が立ち往生となったり、集会所が浸水したりということがあった。

あの辺りは排水が整備されていないと聞いている。

また、西東京消防署西原出張所前の新青梅街道沿いも低い場所にあり、水が流れ込む。

このような市内の低い場所に対する対策はどうなっているのか。

事務局：

まちづくりと一体となった治水対策ということだが、西3・2・6号の都市計画道路を整備する中で周辺の雨水対策を検討している。

低い箇所での雨水貯留施設の整備なども順次進めているが、排水の流れ先が未整備などのため、抜本的な改善ができない状況にある。

委員：

今、議論していることは地域別課題ということだが、西東京市全体の課題として、内水氾濫が挙げられる。

河川整備は石神井川の整備が進められているが、市として内水氾濫に対してどうやっていくかということはこの計画に書いておいたほうがよい。

事務局：

庁内の検討会もあるので、関係各課と調整して対応したい。

委員長：

全体構想の中に反映させることがあるかもしれない。

(保谷駅を中心としたゾーン)

(特になし)

(田無駅を中心としたゾーン)

委員：

4ページの図の芝久保地域は「農地や緑地の保全と活用」が課題として挙げられている。

他の地域にも共通しているが、この先10年、農地は確実に減り続ける。相続や農地制度の問題で歯止めがきかない。

この点についてどのように対応してもらえるのか、危機感を持って再認識していただきたい。

委員長：

課題としては認識しているが、具体的にどう対策を打つかが難しい。方針の中でどこまで打ち出せるのか。

事務局：

このような課題があることを都市計画マスタープランの中で打ち出し、他の分野の計画との庁内連携を図っていきたい。

打ち出し方としては、市街地としてどうあるべきかという観点で都市計画マスタープランの中で謳っていきたい。

委員長：

貴重な緑として保全すべきだということを書いていくことになる。

委員：

北原交差点はこのゾーンに入るかと思うが、道路で一番の課題は北原交差点の渋滞だと思う。そこをどう解消していくのか。

事務局：

地区別の分け方の問題もあるかと思うが、さまざまな条件があり、便宜上10地域に分けている。

道路整備の効果や課題改善のやり方については、地域別構想の中でも謳っていくが、全体構想で骨格軸としての整備のあり方を謳っていく。

北原交差点の渋滞解消ということからみると、西3・3・3号や西3・4・9号がその役割を担っていくことになるが、その表現については、事務局で検討したい。

委員長：

地域別構想では課題があると書いておき、どうするかは全体構想の中で書くことにな

ろうかと思う。

委員：

田無駅周辺の自転車のことだが、7月1日から東京都自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例が施行され、ヘルメット着用の奨励や駐輪場のスペースの確保などが定められている。

田無駅周辺はどうなっているか。

事務局：

今のご意見を踏まえ、改善していきたい。田無駅の北側では田無警察署と連携し、自転車走行モデルゾーンを設けている。自転車のありようを含め、都市計画マスタープランに盛り込みたい。

(東伏見・西武柳沢駅を中心としたゾーン)

(特になし)

委員長：

一通り議論していただいたが、全体を通して何かご意見はないか。

委員：

全体に言えることだが、地域別課題として駅までのアクセスは挙げられている。

しかし、そこが整備されても交通弱者は例えばバス停まで行く手段がないということがある。

はなバスと何かの組み合わせなど、交通弱者への配慮があるとよい。

事務局：

今のご指摘は2つの側面があるかと思う。1点目は、道路全体をいかに整備していくかという問題、2点目は物理的に道路が広げられない場合などに、交通施策として交通弱者の方たちに対してどうしていくかという問題である。

どちらも都市計画マスタープランに盛り込めることなので、内容については精査していきたい。

委員：

東伏見・西武柳沢駅を中心としたゾーンの図で、「石神井川や千川上水沿いの歩行空間の充実」が課題として挙げられ、川沿いがオレンジ色の破線で囲まれているが、この東側の部分は既に歩行空間が整備されており、西側はこれからなので、表示を分けたほうがよい。

事務局：

道路整備と同様に、現状整備されているところとこれから整備するところは分けるようにする。

議題(3)「地域別説明パネル展」の開催について

事務局：

資料3-1、3-2、3-3の説明

副委員長：

「これまでにこんなことに取り組んできました」のパネルだが、道路名が西3・4・13号や西3・4・15号などとなっており、一般の人がわかりづらいのではないか。

委員長：

一般の方にお見せするので、通称などがあればそのほうが判りやすい。

事務局：

道路名やこの道路だと特定できるような補足説明を加えるなどして、地域の方がわかるように工夫する。

委員長：

実際のパネルのサイズはどれくらいの大きさか。

事務局：

A1サイズである。

。

委員：

アンケートだが、問3について自分で書くことを想定すると、提案については書けるが、「1. 駅から自宅までのルートについて」「2. 自宅周辺の居住環境について」など「あなたが関われること」として自分が取り組めるイメージが思い浮かばない。

委員長：

問3は何を答えればよいかわかりにくいのではないか。

事務局：

この設問の意図としては、課題などを出していただくことも大事だが、そこで何か参加できることはないかを聞いたかった。

自助・共助・公助ということで、昨今は市民の方の行政への関わり方やまちづくりへの参加の仕方がいろいろとある。

「市民参加」「市民主体」と言ったキーワードで市民の方から出していただければ、都市計画マスタープランに反映させたいとの考えに基づく設問である。

事務局：

スタッフがお手伝いして、書きやすいようにサポートすることを想定している。

委員長：

困っていることは思い浮かびやすいが、将来に対する提案は捉えるのが難しいような気がする。

委員：

積極的なPRはしているのか。

事務局：

チラシを市内の主要公共施設に配布している。市のホームページにも掲載している。

委員長：

次に市民の方の意見を聞くのはパブリックコメントになるので、今回の地域別説明パネル展は広く周知してもらいたい。

委員：

アンケート結果は、次回の策定委員会で示してもらえるのか。

事務局：

次回の策定委員会までにはお示しできる。

委員長：

今回のアンケートは集計して結果がどうというよりも、どのような意見が出されたかを聞き取りなども含めていねいに整理するというものになるだろう。

また、地図へのプロットも、ある程度、意見が書かれていたりシールが貼られていればやりやすいが、最初は書いたり貼ったりしづらいだろうから、そのあたりの対応も必要になるだろう。

委員：

資料を見ると、ゾーンごとの課題なのか、目指していく方向なのかがわかりづらい。

例えば、「西3・3・14号の整備の早期着手」は課題なのか、目指していく方向なのか。

委員長：

課題なのか、その前段の問題点なのか、あるいは方針なのかがわかりづらいところがあると思う。

まだ、そのあたりが十分に整理されていないかと思うが、できるだけ市民の方が理解しやすい形にしてもらいたい。計画書としては、そのあたりをもっと丁寧に説明していきたい。

議題(4)今後のスケジュールについて

事務局：

資料4の説明

3 その他

事務局：

本日、ご意見をいただいたパネル展の内容については、できるだけ反映させたいが、時間的なこともあるので事務局一任とさせていただきたいがよろしいか。次回に策定委員会で、変更箇所などを報告させていただきたい。

委員長：

それでは、パネルの修正については事務局一任ということによろしいか。

(承認)

4 閉会

以上